

6 教育環境の整備

基本目標4 一人ひとりの学びを支え、時代のニーズに応じた教育環境の整備

一人ひとりの多様な個性や能力を最大限伸ばすため、安心・安全な環境づくりを確保するとともに、老朽化している学校施設や社会教育施設等を計画的に改修していきます。また、市民の誰もが芸術文化やスポーツに親しみ、豊かな生活が送れるように、活動を支援します。

【令和2年度当初予算の主な事業】

(1) 学校教育環境の充実

○ 学校施設の整備

(小学校リニューアル事業) 1億5,946万5千円(昨年度:3億7,683万2千円)

(中学校リニューアル事業) 8,321万7千円(昨年度:7億8,876万円)

学校施設の老朽化対策として、阿品台中学校の普通教室棟の大規模改修工事を行います。また、児童生徒の生活様式等の変化に対応するため、小・中学校のトイレの洋式化を進めます。

○ 学校給食施設の整備(学校給食施設維持管理事業)

1億3,564万9千円(昨年度:5,891万円)

安全で安心な学校給食を将来にわたって安定的に提供するため、津田小学校給食調理室及び吉和学校給食センターのドライシステム改修工事を行うとともに、廿日市学校給食センターのアレルギー対応改修工事実施設計を行います。

(2) 世界にはばたく人材の育成

○ スポーツ活動への支援(スポーツ振興事業) 1,100万円(昨年度:1,100万円)

スポーツ活動による市民の健康づくりを推進するため、廿日市市スポーツ協会やスポーツ少年団への活動支援を行うとともに、関係団体と連携して、市民の生涯スポーツ活動を支援します。

○ スポーツ施設の環境整備

(公園整備事業) 1億5,706万円(昨年度:1億2,851万円)

(体育施設管理運営事業) 3,527万円(昨年度:408万8千円)

(スポーツセンター等管理運営事業) 260万円(昨年度:2,448万3千円)

スポーツ活動の習慣化による体力の維持・向上と健康づくりを図るため、利用者が安全で快適に利用できるよう、グローバルリゾート総合スポーツセンターサンチェリーのトレーニング機器の設置、佐伯総合スポーツ公園の駐車場の増設、廿日市市サッカー場の観覧スペースの整備などを行います。

○ トップアスリートとの交流(スポーツ振興事業) 200万円(昨年度:200万円)

子どもたちにスポーツの楽しさを知ってもらい、元気なはつかいちっ子を育てるため、トップアスリートを招いたスポーツ教室等を開催します。

- **オリンピック聖火への参画（スポーツ振興事業）→延期** **1,100万円**
東京2020オリンピック聖火リレー・パラリンピック広島県聖火フェスティバルへ参画します。また、オリンピックレガシーの創出、市の魅力を国内外に発信するため、市内でオリンピック聖火リレーを実施するとともに、共生社会の実現に向けて集火式を開催し、東京2020パラリンピックに届けます。

- **メキシコ選手団の受入れ（ホストタウン推進事業）→延期** **1,608万9千円**（昨年度：842万3千円）
市内の子どもたちに夢と希望を与えるため、東京2020オリンピック・パラリンピックに出場するメキシコ選手団（柔道・空手・パラ柔道）の事前合宿を受け入れます。